

湖北

長浜市は、市役所の仕事や市職員として働くことの魅力を若者の目線で伝える市職員採用案内(リーフレット)を作成した。

リーフレット作成は、2018年に採用されスポーツ振興課や歴史遺産課、税務課、市民課などで働く6人が担当デザインや内容に若者の感性を生かすため、初めて若手職員に任された。

表紙デザインは「繁栄」を意味するとされる市松模様を、滋賀大や県立大、長浜バ



リーフレット作成を担当した若手職員たち=長浜市提供

長浜 市役所の仕事の魅力をPR 若手職員が採用案内作成

長浜市は、市役所の仕事や市職員として働くことの魅力を若者の目線で伝える市職員採用案内(リーフレット)を作成した。リーフレット作成は、2018年に採用されスポーツ振興課や歴史遺産課、税務課、市民課などで働く6人が担当デザインや内容に若者の感性を生かすため、初めて若手職員に任された。表紙デザインは「繁栄」を意味するとされる市松模様を、滋賀大や県立大、長浜バ

菅浦郷土史料館が新装開館 クイズ楽しめるモニターも

中世村落の名残を残す菅浦地区(長浜市西浅井町菅浦)にある菅浦郷土史料館が3月31日、リニューアルオープンした。同館は1984年に開館し、地域に残る古文書や絵図、工芸品などを展示している。リニューアルは「惣村」と呼ばれる自治村落の掟(おきて)

開館は4月から11月までの日曜日のみ。午前10時午後4時。日曜日以外の入館希望者は要予約。一般300円、小中学生100円。問い合わせは長浜観光協会北部事務所(0749・82・5909)



クイズに挑戦しながら地域の歴史も学べる

湖東



国連が定めた世界自閉症啓発デーの2日、彦根市金亀町の国宝・彦根城が夜間、ブルーライトでライトアップされた。普段はしつこいの白さが目立つ彦根城だが、この日は夜空に青く浮かぶ幻想的な姿を見せ、観光客らを楽しませた。

4月2〜8日が啓発週間。その間、取り組みを通じて自閉症などの発達障害への理解を深めてもらおうとライトアップした。全国でも、

彦根 夜桜と青い彦根城 世界自閉症啓発デーでライトアップ

東京ゲートブリッジや京都タワーなど各地のランドマークとなる建物などでブルーライトアップが行われた。彦根では4日に桜の開花宣言もあり、日を追うごとに城周辺の桜が開花。桜まつりも開かれ、金亀公園などに繰り出した花見客らは桜花とともに、遠く青い彦根城を見上げ、普段とは異なった趣を楽しんでいた。

名水百選 「十王村の水」が復活

交通事故でメーターが破損したため、2月から提供が止まっていた湖東3名水の一つ「十王村の水」(彦根市西今町)の湧水が復活した。早速、市民がポリタンクなどを手に訪れ、炊飯やコーヒー用として取水している。写真。



2月上旬に、近くの交差点での車同士の衝突事故を避けようとした乗用車が揚水設備に突入し機器を破損する事故が起きたため、一時、水を供給できなくなっていた。その後、水中ポンプを運転するため電源設備を復旧し、水質検査も経て、3月28日から提供が再開された。

交通事故でメーターが破損したため、2月から提供が止まっていた湖東3名水の一つ「十王村の水」(彦根市西今町)の湧水が復活した。早速、市民がポリタンクなどを手に訪れ、炊飯やコーヒー用として取水している。写真。

十王村の水は、犬上川の伏流水で、1985年には環境省(当時は環境庁)の名水百選に選ばれている。復旧後、取水に来た男性は「週に1回くらいにくみに来る。ストップして困ってしまいました。この水でご飯を炊くと、味が違うんです」と復旧を喜んでいました。【彦根通信部・西村浩一】